

氏名	讓尾昌太
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4046 号
学位授与の日付	平成22年 3月25日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学（二）専攻 （学位規則第4条第1項該当）

学位論文題目	Interstitial Lung Disease during Trimethoprim/Sulfamethoxazole Administration (トリメトプリム/サルファメトキサゾール投与中の 間質性肺病変)
--------	---

論文審査委員	教授 千堂年昭 教授 金澤 右 准教授 土井原博義
--------	---------------------------

学位論文内容の要旨

トリメトプリム/サルファメトキサゾール（TMP/SMX）投与中の間質性肺病変についてまとめた報告は少ない。今回我々はびまん性肺疾患を基礎疾患として持つ患者 10 例について TMP/SMX 投与中におこった間質性肺病変を検討した。TMP/SMX はニューモシスチス肺炎の予防または治療を目的として投与される。原疾患の治療反応性評価のために撮影した胸部 CT で当初はなかった肺病変がみられた。この病変は投与後の比較的早い時期に、片側肺の上葉に小さな斑状の異常陰影で見付き短期間で消える傾向があった。この病変が何であるかを臨床・画像的に鑑別診断し、原疾患の悪化と感染症はどちらかというと考えにくいと判断した。TMP/SMX の薬剤性肺病変が疑われ、そういう診断でみた場合のこれらの病変についてその臨床画像的特徴を検討した。

論文審査結果の要旨

本研究は、トリメトプリム/サルファメトキサゾール（TMP/SMX）投与中に間質性肺炎を発症したと思われる 10 症例について、その臨床画像特徴を検討したものである。その結果、画像の特徴について、時系列的に観察した結果、小さい範囲の斑状陰影が片側肺の上葉、中層から外層にみられた。この病変はその辺縁が不明瞭で、二次小葉と特定の関係を持たないことが多いことから画像所見から病像を推定するには至っていない。10 例のうち 8 例の肺病変は投与開始から 14 日以内に胸部 CT により発症が確認されていること、また画像所見からは感染症と基礎疾患の増悪が否定されたことより薬剤性間質性肺病変の疑い症例と鑑別診断している。ニューモシスチス肺炎の予防目的で TMP/SMX が投薬された 8 例のうち 7 例については、投薬を続けた場合でも胸部異常陰影は改善した。従って一過性病変と考えられ、自然に軽快する性質を持ち、臨床的には問題にならないと結論付けている。本研究は TMP/SMX 投与中に胸部 CT 画像で間質性肺病変を認めた症例についてその臨床的意義を精査したものであり、薬剤性間質性肺病変について重要な指針を提供するもので価値ある業績であると認める。よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。